Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

United States • DDS Knowledge Exam

# Georgia

## Study Guide

| KNOWLEDGE POINTS | CHAPTERS | EDITION |
| --- | --- | --- |
| 65 | 5 | 2026-10-18 |

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

# Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 65 knowledge points • 5 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
**support@test-4-x.com**

# Contents


01 Chapter 1: Traffic Laws 1

02 Chapter 2: Teen Driving Laws 6

03 Chapter 3: Signs, Signals & Markings 9

04 Chapter 4: Safety Guidelines 14

05 Chapter 5: Sharing the Road 18

CHAPTER 1

# Chapter 1: Traffic Laws

## 1.1 ジョージア州の最も基本的な3つの交通法規

ジョージア州のすべてのドライバーは、交通安全の基礎となる3つの基本的な交通法規を遵守しなければなりません。これには、標識や信号などのすべての交通制御装置に従うこと、信号と矛盾する場合でも法執行官や消防士の指示に従うこと、閉鎖された道路では決して運転しないことが含まれます。

- ✓ 信号機や標識など、すべての交通制御装置に従わなければなりません。
- ✓ 交通制御装置の表示と矛盾する場合でも、法執行官または消防士の交通指示に従わなければなりません。
- ✓ 工事、特別なイベント、その他の理由で公式に閉鎖された道路では、決して運転してはなりません。

## 1.2 信号のない交差点での優先権

信号のない交差点での優先権を理解することは、衝突を防ぐために非常に重要です。標識や信号のない交差点に2台の車両が同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。四方向一時停止（four-way stop）では、「先に到着した車が先に進む」のがルールです。2台の車両が四方向一時停止に同時に到着した場合、左側の車両は右側の車両に道を譲らなければなりません。

- ✓ 信号のない交差点で2台の車両が同時に到着した場合、左側の車両の運転手は右側の車両の運転手に道を譲らなければなりません。
- ✓ 四方向一時停止では、車両は「先に到着した車が先に進む」という順序で進行します。
- ✓ 2台の車両が四方向一時停止に同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。

## 1.3 右左折および合流時の優先権の譲り合い

交通の流れを安全に保つため、ドライバーはいくつかの一般的な状況で優先権を譲らなければなりません。これには、左折時にすべての対向車に道を譲ることが含まれます。合流する際、ドライバーは安全に新しい車線に入るために速度と位置を調整する必要があり、すでに道路を走行しているドライバーは、可能であれば車線変更をして合流車両が進入できるようにすべきです。

- ✓ 交差点、路地、または私道で左折する際は、対向方向から来るすべての車両に優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 「ゆずれ」の標識に近づくときは、速度を落とし、停止する準備をしなければならず、安全な場合にのみ進行してください。
- ✓ 合流する際は、安全に新しい車線に合流するために、速度と車両の位置を調整しなければなりません。

## 1.4 緊急車両および保守車両への対応

緊急車両がライトとサイレンを使用して接近してきた場合、ドライバーは安全に操作して進路を譲らなければなりません。これには通常、減速し、道路の右側路肩に移動して停止することが含まれます。交差点を塞いではいけません。同様に、ドライバーは工事区域内のすべての高速道路保守車両および作業員に進路を譲らなければなりません。

- ✓ ライトとサイレンをつけた緊急車両が接近してきた場合は、減速し、道路の右側路肩（または可能な限り右側）に移動して停止しなければなりません。
- ✓ 交差点を塞いだり、緊急車両が必要な右左折をするのを妨げたりするような位置に車両を止めないでください。
- ✓ 工事区域内のすべての高速道路保守車両および作業員に進路を譲らなければなりません。

## 1.5 スクールバスの停止に関する法律

ドライバーはスクールバスに特別な注意を払う必要があります。バスが黄色の点滅ライトを点灯させたら、速度を落として停止の準備をしなければなりません。点滅ライトが赤に変わり、ストップアーム（停止腕）が伸ばされると、バスに接近するすべての車両は、乗客の乗降中は停止し、追い越してはなりません。唯一の例外は、中央分離帯で区切られた高速道路です。この場合、中央分離帯の反対側を走行する車両は停止する必要はありません。

- ✓ スクールバスが赤色の点滅ライトを表示し、ストップアームが伸ばされているときは、停止してバスを追い越してはなりません。
- ✓ 中央分離帯で区切られた高速道路では、停止したスクールバスの反対側を走行する車両は停止する必要はありません。
- ✓ スクールバスの黄色の点滅ライトは、速度を落として停止の準備をするための警告です。

## 1.6 追い越し禁止の区域と距離

安全上の理由から、特定の区域では他の車両を追い越すことが禁止されています。これらの区域は、標識や路面標示（例：センターラインの自車線側にある黄色い実線）によって示されます。また、交差点、踏切、橋、トンネルから一定の距離以内、または対向車がいる場合も追い越しは違法です。

- ✓ 踏切、橋、高架橋、またはトンネルから100フィート以内での追い越しは禁止されています。
- ✓ センターラインの自車線側に黄色い実線がある場合、または「追い越し禁止（Do Not Pass）」区域では、追い越しは禁止されています。
- ✓ 安全に追い越しを完了する前に、対向車が200フィート以内に接近している場合は、追い越してはなりません。

## 1.7 ジョージア州の「ムーブオーバー法」

ジョージア州の「ムーブオーバー法」は、点滅灯をつけた状態で停止している緊急車両、清掃車両、または公共事業車両のために、ドライバーが緩衝車線を確保することを義務付けています。路肩に停車しているそのような車両に接近する場合は、安全であれば隣の車線に移動しなければなりません。車線変更ができない場合は、制限速度よりも遅い速度まで減速し、停止できるように準備しなければなりません。違反した場合、最大500ドルの罰金が科されることがあります。

- ✓ 点滅灯をつけた状態で停車している緊急車両、清掃車両、または公共事業車両に接近する際は、安全に可能であれば隣の車線に移動しなければなりません。
- ✓ 車線変更ができない場合は、制限速度以下に減速し、停止する準備をしなければなりません。
- ✓ この法律は、路肩に駐車し、黄色、琥珀色、白色、赤色、または青色の点滅灯を表示している車両に適用されます。

## 1.8 特定の対象物からの駐車距離に関する規則

ジョージア州の法律では、アクセスや視界を確保するため、特定の対象物の近くに駐車する際に維持しなければならない最低距離を定めています。これらの数値的な距離は、試験で頻繁に問われます。例えば、消火栓から15フィート以内、または交差点の横断歩道から20フィート以内に駐車することはできません。

- ✓ 消火栓から15フィート以内に駐車しないでください。
- ✓ 交差点の横断歩道から20フィート以内に駐車しないでください。
- ✓ 一時停止標識、譲れ（YIELD）の標識、または交通信号機から30フィート以内に駐車しないでください。
- ✓ 鉄道の踏切から50フィート以内に駐車しないでください。

## 1.9 ジョージア州の「スローポーク」法（低速運転者法）

ジョージア州の「スローポーク」法（下院法案459号）は、速度の遅い車両がより速い交通を進行させるために、最も左側の車線（追越車線）から移動することを義務付けています。走行速度に関わらず、最も左側の車線を走行中に後方からより速い車両が接近した場合は、右側に移動しなければなりません。ただし、左折の準備、危険の回避、または交通渋滞など、その車線に留まる必要がある特定の状況は除きます。

- ✓ 速度の遅い運転手は、より速い交通が通過できるように、追越車線（最も左側の車線）から移動しなければなりません。
- ✓ 走行速度に関わらず、後方からより速い交通が接近している場合は、最も左側の車線から移動しなければなりません。
- ✓ 例外には、左折の準備をする場合、交通状況によりそれが必要な場合、または障害物を避ける場合が含まれます。

## 1.10 赤信号での右左折のルール

ジョージア州では、標識で特に禁止されていない限り、完全に停止し、すべての車両と歩行者に道を譲った後、赤信号で右折することが許可されています。また、赤信号での左折も許可されていますが、これは一方通行の道路の左側車線から別の一方通行の道路に進入する場合に限り、完全に停止し、すべての車両と歩行者に道を譲った後に行う必要があります。

- ✓ 標識で禁止されていない限り、完全に停止し、車両と歩行者に道を譲った後、赤信号での右折が許可されます。
- ✓ 赤信号での左折は、一方通行の道路から別の一方通行の道路へ曲がる場合にのみ許可されます。
- ✓ 赤信号で右左折する前には、必ず完全に停止し、進路が安全であることを確認しなければなりません。

## 1.11 二車線道路での追い越し手順

二車線道路で安全に追い越しをするには、指定された追い越し区間を待ち、ミラーと死角を確認し、合図を出さなければなりません。追い越した後は、追い越した車全体がバックミラーで見えるまで右車線に戻ってはいけません。他の車両があなたを追い越そうとしているときに速度を上げることは違法です。

- ✓ 追い越す前に、ミラーと死角を確認し、誰もあなたを追い越していないことを確認してください。
- ✓ 追い越した車がバックミラーに完全に見えるまで、右車線に戻らないでください。
- ✓ 追い越し車両に完全に追い越される前に速度を上げることは違法です。

## 1.12 自転車やオートバイの追い越し

ジョージア州の法律では、交通弱者を追い越す際に特定の要件が定められています。オートバイを追い越す際は、隣の車線を使って追い越さなければなりません。オートバイの運転者には車線全体の幅を使用する権利があるためです。自転車を追い越す際は、可能であれば車線を変更するか、それが不可能な場合は、制限速度より少なくとも10マイル毎時（または25マイル毎時、いずれか大きい方）遅い速度まで減速し、自車と自転車の間に少なくとも3フィートの間隔を空けなければなりません。

- ✓ オートバイの運転者には1車線の全幅を使用する権利があります。追い越す際は隣の車線を使用しなければなりません。
- ✓ 自転車を追い越す際は、少なくとも3フィートの間隔を確保しなければなりません。
- ✓ 自転車を追い越す際に車線変更が不可能な場合は、合理的かつ適切な速度まで減速しなければなりません。これは、掲示された制限速度より少なくとも10マイル毎時遅い速度、または25マイル毎時、いずれか大きい方です。

## 1.13 適切な右左折の手順

安全に曲がるため、ドライバーは十分な距離から継続的に方向指示器で意思表示をしなければなりません。右折の場合は、右側の車線に入り、縁石に沿って走行してください。左折の場合は、最も左側の車線（または左折レーン）に移動し、曲がり始めるまでハンドルをまっすぐに保ち、対向車や歩行者に道を譲ってください。曲がった後は、新しい道路の対応する車線に入ります。

- ✓ 曲がる前に、他のドライバーに知らせるため、十分な距離から継続的に方向指示器を出す必要があります。
- ✓ 左折の準備をするときは、実際に曲がり始めるまでハンドルをまっすぐに保ってください。
- ✓ 曲がる際は、曲がった先の道路の横断歩道にいる歩行者に道を譲らなければなりません。

## 1.14 停車、駐停車、駐車禁止区域

安全と交通の流れを確保するため、多くの特定の場所で車両を停車、駐停車、または駐車することは違法です。これには、歩道、交差点内、横断歩道、高速道路のトンネル内、または線路上などが含まれます。二重駐車（駐車中の車両の道路側に駐車すること）も禁止されています。

- ✓ 歩道、交差点内、または横断歩道での駐車は禁止されています。
- ✓ 橋や高架道路の上、または高速道路のトンネル内での駐車は禁止されています。
- ✓ 駐車中の車両の道路側に停車する二重駐車は、いかなる時も許可されません。

CHAPTER 2

# Chapter 2: Teen Driving Laws

## 2.1 ジョージア州の段階的運転免許プログラム（TADRA）

ティーンエイジャーおよび成人ドライバー責任法（TADRA）は、15歳から18歳までの若者向けの段階的運転免許プログラムです。これは3つの段階で構成されており、若者がクリーンな運転記録を維持することを条件に、徐々に運転経験と権限を得られるようにするものです。

- ✓ TADRAは、15歳から18歳までのドライバーを対象とした3段階の段階的免許取得プロセスです。
- ✓ TADRAには、学校への在籍要件や、飲酒運転（DUI）や大幅なスピード違反などの特定の危険行為に対する免許停止の規定が含まれています。

## 2.2 ジョシュア法に基づくドライバー教育の要件

ジョシュア法 (Joshua's Law) は、16歳および17歳の若者がクラスD仮免許 (Class D Provisional License) を取得するために、DDSが承認したドライバー教育コースを修了することを義務付けています。これには、学科教習と実地運転経験の両方が含まれます。

- ✓ 16歳または17歳でクラスD免許を取得するには、30時間の教室/オンラインでの学科教習と、認定インストラクターによる6時間の実地路上訓練を含むドライバー教育コースを修了する必要があります。
- ✓ 申請者はまた、最低6時間の夜間運転を含む、累計で少なくとも40時間の監督付き運転経験を完了する必要があります。

## 2.3 クラスCP仮運転免許の規則と条件

クラスCP仮運転免許は、ジョージア州のTADRAプログラムの最初のステップです。これにより、ティーンエイジャーは特定の監督下で運転を練習することができます。申請者は15歳以上であり、視力検査と学科試験に合格する必要があります。

- ✓ クラスCP仮運転免許を取得するには、申請者は15歳以上である必要があります。
- ✓ クラスCP免許の所持者は、21歳以上でクラスC車両の運転免許を持ち、運転者の隣に着席している人が同乗している場合にのみ運転できます。

## 2.4 クラスD仮免許の要件

クラスD仮免許は、TADRAプログラムの中間段階です。取得するには、16歳以上であること、クラスCP許可証を1年と1日保持していること、ジョシュア法（Joshua's Law）の要件を完了していること、そして路上試験に合格していることが必要です。

- ✓ クラスD免許を申請するには、16歳以上であり、クラスCP教習許可証を1年と1日保持している必要があります。
- ✓ クラスD免許の申請者は、アルコールおよび薬物認識プログラム（ADAP）の修了証明書を提示する必要があります。

## 2.5 ティーンエイジャー向けクラスD仮免許の夜間運転禁止時間

クラスD免許保持者に対する主な制限は、義務的な夜間運転禁止です。この規則は、仕事、学校、その他の活動のための例外なく厳格に施行されます。

- ✓ クラスD免許保持者は、午前12時から午前5時までの間は運転を許可されません。
- ✓ クラスD免許の夜間運転禁止に例外はありません。

## 2.6 クラスD仮免許における同乗者制限

初心運転者の注意散漫を防ぐため、クラスD免許には最初の1年間、厳格で段階的な同乗者制限が設けられています。これらの規則は、近親者と21歳未満の他の同乗者を区別します。

- ✓ 交付後の最初の6か月間、クラスDの運転手は近親者のみを同乗させることができます。
- ✓ 次の6か月間、クラスDの運転手は、近親者ではない21歳未満の同乗者を1名のみ同乗させることができます。

## 2.7 21歳未満のDUI以外の違反による免許停止

ジョージア州法は、21歳未満の運転者が特定の重大な交通違反で有罪判決を受けた場合、免許停止を義務付けています。最初の有罪判決では6ヶ月間の免許停止、2回目の有罪判決では12ヶ月間の免許停止となります。

- ✓ 21歳未満の運転者の免許は、ひき逃げ、レース行為、無謀運転、または警察官からの逃走で有罪判決を受けた場合に停止されます。
- ✓ 制限速度を時速24マイル以上超過することは、21歳未満の運転者に対する義務的な免許停止につながる違反です。

## 2.8 21歳未満のドライバーに対するDUI（飲酒運転）有罪判決の罰則

ジョージア州では、未成年者の飲酒運転に対してゼロ・トレランス（不寛容）方針を採用しています。21歳未満のドライバーがDUIで有罪判決を受けた場合の罰則は厳しく、免許停止期間は血中アルコール濃度（BAC）のレベルまたは検査の拒否によって決定されます。

- ✓ 21歳未満のドライバーの場合、血中アルコール濃度（BAC）が0.02以上0.08未満での最初のDUI有罪判決は、最低6ヶ月間の免許停止処分となります。
- ✓ 21歳未満のドライバーの場合、血中アルコール濃度（BAC）が0.08以上、または化学検査を拒否した場合の最初のDUI有罪判決は、最低12ヶ月間の免許停止処分となります。

## 2.9 ジョージア州ハンズフリー法違反に対する罰則

ジョージア州のハンズフリー法は、違反回数に応じて厳しくなる罰則を定めています。初回の違反では、罰金と免許への1点の加点が行われます。24ヶ月以内に2回目および3回目の違反を犯した場合、罰金と加点数が増加します。

- ✓ ハンズフリー法違反による初回の有罪判決では、免許に1点が加点され、最高50.00ドルの罰金が科せられます。
- ✓ ハンズフリー法違反による3回目以降の有罪判決では、免許に3点が加点され、最高150.00ドルの罰金が科せられます。

## 2.10 未成年ドライバーの在学証明

ジョージア州で運転免許証または仮免許を取得するためには、18歳未満の申請者は、現在学校に在学中であるか、課程を修了したことの証明を提出しなければなりません。これには、学校が発行する在学証明書（DS-1）、卒業証書、GED、またはその他の承認された書類が使用できます。

- ✓ 18歳未満の方は、運転免許証または仮免許を取得するために、在学または卒業の証明を提示する必要があります。
- ✓ 認められる書類には、在学証明書（DS-1）、高校の卒業証書、またはGEDが含まれます。

CHAPTER 3

# Chapter 3: Signs, Signals & Markings

## 3.1 形状による道路標識の識別

ジョージア州では、交通標識はその意味を素早く伝えるために7つの基本的な形状を使用しています。ドライバーは、標識のメッセージを予測するために、遠くからこれらの形状を認識できる必要があります。例えば、八角形は常に一時停止を、三角形は常に譲歩（ゆずりあい）を意味し、ひし形は警告に使用されます。

- ✓ 八角形（八辺形）の標識は、常に完全な停止をしなければならないことを意味します。
- ✓ 三角形の標識は、常に減速して道を譲らなければならないことを意味します。
- ✓ ひし形の標識は、道路上またはその付近に存在する、または存在する可能性のある危険を警告するために使用されます。
- ✓ 円形の標識は、鉄道の踏切に近づいていることを示します。
- ✓ 五角形の標識は、スクールゾーンまたは学校の横断歩道に近づいていることを示します。

## 3.2 規制標識の理解と遵守

規制標識は、多くが縦長の長方形で、運転者に特定の交通法規や規則を知らせます。これらは法的に強制力があり、自転車の運転者を含むすべての運転者はこれに従わなければなりません。禁止を示す規制標識の一般的な特徴は、画像の上に赤い円と斜線が描かれていることであり、描かれている行為が許可されていないことを示します。

- ✓ 交通法規と同様に、規制標識に従わなければなりません。
- ✓ 左上から右下への赤い斜線が入った赤い円は、「禁止」またはその行為が禁じられていることを意味します。
- ✓ 規制標識の例には、「速度制限」、「進入禁止」、「転回禁止（Uターン禁止）」の標識が含まれます。

## 3.3 警告標識の認識と対応

警告標識は、前方の潜在的な危険や道路状況の変化を運転者に警告するために設置されています。通常、ひし形で、黄色地に黒の標示や記号が描かれています。警告標識を見たら、注意力を高め、必要に応じて速度や車線内の位置を調整する必要があります。

- ✓ 警告標識は通常、黄色地に黒の標示があり、ひし形です。
- ✓ これらの標識は、急カーブ、狭い橋、雨で濡れて滑りやすい路面など、すぐ前方の状況について警告します。
- ✓ 「Stop Ahead」（この先一時停止）や「Signal Ahead」（この先信号機）のような標識は、減速または停止の準備をするための事前の通知です。

## 3.4 工事・作業区域の通行

道路工事やメンテナンスプロジェクトで使用される標識は、オレンジ色の背景に黒い文字や記号で表示されます。これらの標識は、前方の危険や一時的な交通パターンの変更を警告し、速度を落として安全に作業区域を通過するための時間を与えるため、安全にとって非常に重要です。

- ✓ 工事やメンテナンスプロジェクトの警告標識は、オレンジ色の背景に黒い文字や記号で表示されます。
- ✓ これらの標識は前方の危険を警告し、それに応じて速度を調整するのに十分な時間を与えてくれます。
- ✓ 車線閉鎖の指示や旗振り員の指示を含め、作業区域内のすべての標識に従わなければなりません。

## 3.5 踏切への接近と横断

踏切での安全は、複数の標識や標示によって示されます。円形の黄色い標識は、踏切に近づいていることを事前に警告します。踏切自体には、「クロスバック」と呼ばれる白いX字型の標識があります。路面には、大きなXと2つのRが標示されていることがよくあります。

- ✓ 円形の標識は、踏切に近づいていることの事前警告です。
- ✓ 「クロスバック」標識は踏切に設置されており、接近してくる列車に道を譲る必要があります。
- ✓ すべての踏切で追い越しは禁止されています。
- ✓ 踏切で赤信号が点滅している場合は、完全に停止する必要があります。

## 3.6 スクールゾーンでの安全運転

五角形の標識は、スクールゾーンまたは学校の横断歩道に近づいていることを示します。黄色または蛍光緑色の場合があるこれらの標識は、学校の敷地の150フィートから700フィート手前に設置されています。特に子供がいる場合や、スクールゾーンの速度制限標識のライトが点滅している場合は、ドライバーは警戒し、減速する準備をしなければなりません。

- ✓ 五角形の標識は、スクールゾーンまたは学校の横断歩道に近づいていることを意味します。
- ✓ スクールゾーンの速度制限標識で黄色のライトが点滅している場合は、減速された制限速度が有効であることを示します。
- ✓ これらの標識は、学校の敷地または横断歩道の150フィート以上700フィート手前に設置されます。

## 3.7 交通信号機の解釈

交通信号機は交差点の交通の流れを制御します。赤色の点灯は完全な停止を要求します。黄色の点灯は信号がまもなく赤に変わるという警告ですので、停止の準備をする必要があります。青色の信号は進んでもよいことを意味しますが、交差点が空いている場合に限ります。信号機が故障している場合、その交差点は一時停止が全方向にある交差点（all-way stop）として扱われるべきです。

- ✓ 赤色の点灯は、横断歩道または交差点に入る前に完全に停止しなければならないことを意味します。
- ✓ 赤色の点滅は停止標識と同様に扱うべきです。完全に停止し、安全な場合にのみ進行しなければなりません。
- ✓ 黄色の点滅は、速度を落とし、注意して交差点を通過すべきであることを意味します。
- ✓ 交通信号機が機能していない場合、すべての運転手はその交差点を一時停止が全方向にある交差点として扱わなければなりません。

## 3.8 交通信号の矢印の理解

矢印信号は特定の車線に適用され、転回方向を指示します。緑色の矢印は「保護された」転回を意味し、対向車が停止していることを示します。黄色の点滅矢印は、左折してもよいですが、まず対向車と歩行者に道を譲らなければならないことを示します。なぜなら彼らは青信号だからです。

- ✓ 緑色の矢印は、矢印が指している方向に注意して進むことができることを意味します。
- ✓ 黄色の点滅矢印は、対向車と歩行者に道を譲った後、左折できることを意味します。
- ✓ 黄色の点灯矢印は、保護された転回時間が終了することを警告しており、停止するか交差点を通過し終える準備をすべきです。

## 3.9 中央線と追越し禁止線の理解

舗装路上の黄色い線は、対向車線を分離します。黄色い破線は、安全な場合に追越しが許可されていることを示します。自分の走行車線側にある黄色い実線は、追越しが禁止されていることを意味します。2本の黄色い実線は、両方向の車両ともに追越しが禁止されていることを示します。

- ✓ 1本の黄色い破線は、どちらの方向からでも追越しが許可されている2車線道路の中央を示すために使用されます。
- ✓ 中央線の自分の走行車線側にある黄色い実線は、追越しができないことを意味します。
- ✓ 道路の中央にある2本の黄色い実線は、どちらの方向からも追越しが許可されていないことを意味します。

### 3.10 車線と路側線の解釈

白線は、同じ方向に進む車線を分離し、車道の端を示すために使用されます。白い破線は、安全な場合に車線変更のために越えることができます。白い実線は車線変更を推奨せず、舗装の右端を示します。二重の白い実線は車線変更を禁止します。

- ✓ 白い破線は、同じ方向に進む車線を分離します。
- ✓ 舗装の側面に沿った白い実線は、安全ガイドとして機能する路側線です。
- ✓ 二重の白線が実線の場合、車線変更は禁止されています。

### 3.11 交差点での正しい停止方法

路面標示は、交差点で停止すべき正しい場所を示しています。車線を横切って引かれた白い実線は停止線です。この線の手前で車両を完全に停止させなければなりません。停止線がない場合は、横断歩道の手前で停止しなければなりません。横断歩道上の歩行者は、常に優先されます。

- ✓ 運転手は、停止線がある場合、実際の停止標識や信号機ではなく、停止線で完全に停止しなければなりません。
- ✓ 停止線がない場合は、横断歩道に入る手前で停止しなければなりません。
- ✓ 歩行者が横断歩道にいる場合、自動車よりも優先権があります。

### 3.12 リバーシブルレーン（可逆車線）制御信号の使用

一部の道路では、リバーシブルレーン（可逆車線）の交通量を管理するために頭上の信号が使用されます。緑色の矢印は、その車線があなたの進行方向に対して通行可能であることを示します。赤色の「X」は、その車線が通行止めであることを意味します。黄色の「X」の点灯は、車線が間もなく閉鎖されることを警告しており、安全にその車線から移動する必要があります。

- ✓ 車線の上にある緑色の矢印信号は、その車線を通行できることを意味します。
- ✓ 車線の上にある赤色の「X」信号は、あなたの進行方向ではその車線を通行できないことを意味します。
- ✓ 黄色の「X」の点灯信号は、車線の進行方向が間もなく反転するため、その車線から退去しなければならないことを意味します。

### 3.13 ナビゲーションのための案内標識の使用

案内標識は、目的地、距離、サービスに関する情報を提供します。通常は長方形で、緑色は方面、青色はサービス、茶色はレクリエーションエリアなど、様々な色があります。路線番号標識、出口番号、マイルポストマーカーはすべて案内標識の一種です。

- ✓ 案内標識は、ナビゲーションを助けるために、場所、方向、その他の特別な情報を示します。
- ✓ マイルポストマーカーは、道路の端に沿って1マイルごとに設置されており、ゼロ地点は州の南または西の境界から始まります。
- ✓ 番号付きの標識は、特定の出口、州間高速道路、または州道の指定に使用されます。

CHAPTER 4

# Chapter 4: Safety Guidelines

## 4.1 霧の中での安全な運転方法

濃い霧の中での運転は危険であり、可能であれば避けるべきです。運転しなければならない場合、視界が著しく制限され、距離の判断が難しくなります。他車から見えやすく、また自分も前方を見るためには、適切なヘッドライトを使用することが非常に重要です。

- ✓ 濃い霧の中を運転する際は、必ず減光（ロービーム）ヘッドライトを使用してください。ハイビームはグレア（眩惑）を引き起こし、視界をさらに悪化させます。
- ✓ パーキングライト（車幅灯）やハザードランプだけを点灯して運転しないでください。速度を落とし、車間距離を十分に取ってください。

## 4.2 ハイドロプレーニング現象の理解と防止

ハイドロプレーニング現象は、濡れた路面でタイヤが路面との接触を失い、水の膜の上を滑る現象です。この牽引力の喪失は、ブレーキ、加速、またはハンドル操作ができないことを意味します。リスクは速度とともに増加し、時速35マイルという低速でも発生し始める可能性があります。

- ✓ 標準的な乗用車では、部分的なハイドロプレーニング現象は時速35マイルという低速でも発生し始める可能性があります。
- ✓ 車両がハイドロプレーニング現象を起こし始めたら、アクセルから足を離し、車を減速させてください。急にブレーキをかけたり、ハンドルを切ったりしないでください。

## 4.3 車両がスリップした時の修正方法

スリップとは、タイヤが路面とのグリップを失い、ブレーキやハンドルのコントロールが効かなくなる現象です。これは、滑りやすい路面で急ブレーキをかけたり、急ハンドルを切ったりすることが主な原因です。対処法を知っておくことで、コントロールを取り戻す助けになります。

- ✓ 車両がスリップし始めたら、アクセルペダルから足を離してください。
- ✓ コントロールを取り戻すには、スリップしている方向（つまり、車の後部が滑っている方向）にハンドルを切る必要があります。

### 4.4 車両が道路から外れた場合の安全な復帰方法

車輪が舗装路から外れてしまった場合、より深刻な衝突を避けるために、冷静かつ正しく対応することが極めて重要です。パニックに陥り、ハンドルを急に切って過剰に修正しようとすることは、よくある危険な間違いであり、スリップや横転、または対向車線へのはみ出しを引き起こす可能性があります。

- ✓ 車両が道路から外れた場合は、アクセルから足を離し、ハンドルをしっかりと握ってください。急にブレーキペダルを踏まないでください。
- ✓ すぐに舗装路に戻ろうとしないでください。速度が落ちるのを待ち、交通状況を確認してから、安全に道路に合流してください。

### 4.5 突然のタイヤバーストへの対応

タイヤのバーストとは、タイヤが即座に破裂し、突然車両のコントロールを失う可能性がある状態です。正しい対応には、冷静さを保ち、車両の速度と方向をスムーズに制御することが含まれます。

- ✓ タイヤがバーストした場合は、ハンドルをしっかりと握り、アクセルから足を離してください。
- ✓ 急ブレーキをかけないでください。車両を減速させ、惰性で道路外の安全な場所に停止させてください。

### 4.6 安全な車間距離の維持

前方車両に接近しすぎることは、追突事故の主な原因です。停止するのに十分な時間を確保するため、2秒ルールを使用して、自分の車と前方の車との間の距離を測る必要があります。

- ✓ 他の車両に追従する際は、少なくとも2秒間のスペースクッション（安全な車間時間）を維持しなければなりません。
- ✓ 悪天候時、夜間、または交通渋滞時には、車間距離を2秒以上に延ばさなければなりません。

### 4.7 高速道路への進入と退出

高速道路は出入りが制限されており、特定のインターチェンジでのみ出入りが可能です。加速車線と減速車線を正しく使用することは、高速で走行する交通の流れに安全に合流するために不可欠です。

- ✓ 高速道路に進入する際は、加速車線を使って本線の交通の流れに速度を合わせてから合流してください。
- ✓ 高速道路から退出する際は、まず減速車線に入り、その後、出口ランプの制限速度まで速度を落としてください。

## 4.8 高速道路運転の一般安全規則

高速道路での運転には、高度な注意と特定の規則の遵守が求められます。これには、適切な車線使用、他のドライバーの死角を避けること、緊急時の対処法を知ることが含まれます。

- ✓ 中央分離帯のある高速道路では、速度の遅い車は右側を走行しなければなりません。
- ✓ 高速道路の車道での停車は禁止されており、路肩での停車は真の緊急事態の場合にのみ許可されます。

## 4.9 車両のタイヤの安全性とメンテナンス

運転する前に、タイヤが安全であることを確認することが重要です。これには、通常は運転席側のドアジャムにあるステッカーに記載されているメーカーの推奨値に従ってタイヤの空気圧をチェックすることが含まれます。また、特に悪条件下で車両が路面をグリップできるように、タイヤのトレッドの深さもチェックする必要があります。「ペニーテスト」は、これを行う簡単な方法です。

- ✓ タイヤの空気圧は、タイヤ自体ではなく、車両のドアジャムに記載されている推奨psiを使用して確認してください。
- ✓ ペニーテストでトレッドの深さを確認するには、エイブラハム・リンカーンの頭の一部がトレッドで覆われていれば安全です。頭全体が見える場合は、トレッドが法定制限の2/32インチを下回っており、タイヤを交換する必要があります。

## 4.10 ステアリングの正しい手の位置

正しい姿勢とステアリングホイール上の手の位置を維持することで、車両のコントロールが向上し、危険をより明確に視認できます。推奨される手の位置は、お使いの車両にエアバッグが装備されているかどうかによって異なる場合があります。

- ✓ 原則として、左手は9時の位置に、右手は3時の位置に置きます。
- ✓ エアバッグが装備されている車両の場合、エアバッグが展開した際の負傷を防ぐため、一部のメーカーは手を8時と4時の位置に置くことを推奨しています。

## 4.11 カーブでの安全運転

カーブは速度調整が必要な潜在的危険箇所です。勧告速度標識はカーブでの安全な速度を示していることが多く、これは通常、法定速度制限よりも低く設定されています。カーブに入る前に減速することが重要であり、カーブの最中に減速するのではありません。

- ✓ カーブに入る前に速度を落とす必要があります。
- ✓ カーブ内で速すぎると気づいた場合は、急ブレーキをかけないでください。代わりに、アクセルから足を離し、慎重にブレーキをかけてください。

## 4.12 高速道路のゴア（Gore）およびHOVレーンの規則

高速道路には、交通の流れを制御するための特定の標示があります。「ゴア」（gore）とは、車線が合流する場所に白い実線でマークされた三角形の領域で、ここを横切ることは違法です。HOV（High Occupancy Vehicle）レーンは、特定の車両に制限されており、特定の出入り口があります。

- ✓ 入口ランプと隣接する走行車線との合流地点であるゴアの白い実線を横切ることは違法です。
- ✓ HOVレーンは、ひし形の記号で示されています。分割線が白い破線になっている場所でのみ、HOVレーンに出入りできます。

## 4.13 居眠り運転と高速道路催眠の防止

単調な高速道路での長距離旅行は、眠気や「高速道路催眠」という無意識状態を引き起こすことがあります。疲労の兆候を認識し、ハンドルを握ったまま眠ってしまわないように対策を講じることが極めて重要です。

- ✓ 高速道路催眠と闘うには、常に視線を動かし、近くや遠くのさまざまな物体に焦点を合わせ、頻繁にミラーを確認する必要があります。
- ✓ 運転中に眠気を感じた場合、唯一の安全な解決策は、安全な場所に車を停めて休息することです。興奮剤に頼らないでください。

## 4.14 冬の状況における安全運転の慣行

冬の天候は、雪や氷など危険な運転状況を生み出すことがあります。ドライバーは、コントロールを維持し、衝突を避けるために、車両を準備し、運転習慣を調整しなければなりません。

- ✓ 冬の天候で運転する前に、すべての窓、ライト、ミラーから雪と氷を完全に取り除かなければなりません。
- ✓ 滑りやすい道路では、速度を落とし、車間距離を広げ、スリップを避けるためにブレーキを優しく徐々にかけなければなりません。

CHAPTER 5

# Chapter 5: Sharing the Road

## 5.1 ジョージア州の歩行者優先権に関する法律

ジョージア州では、いくつかの条件下で、ドライバーは横断歩道上の歩行者のために停止し、停止し続けなければなりません。これは、歩行者がドライバー側の車線半分にいるか、1車線以内に接近している場合に適用されます。また、ドライバーは交差点で曲がる際、一時停止標識で停止した後、そして信号が青であっても歩行者がまだ横断歩道にいる場合は、歩行者に道を譲らなければなりません。

- ✓ ドライバーは、歩行者がドライバー側の車線半分にいるか、1車線以内に接近している場合、横断歩道上の歩行者のために停止し、停止し続けなければなりません。
- ✓ ドライバーは、信号が青であっても歩行者がまだ横断歩道にいる場合は、交通信号で歩行者に道を譲らなければなりません。
- ✓ 私道や路地から道路に出る際は、停止して歩道上の歩行者に道を譲らなければなりません。

## 5.2 視覚障害のある歩行者の絶対的優先権

ジョージア州法は、視覚障害のある歩行者に特別な保護を定めています。盲導犬または白杖を使用している歩行者には、例外なく、常に優先権が与えられなければなりません。運転手は、視覚障害のある歩行者が道路や幹線道路を横断しようとしているのを見かけたら、車両を停止しなければなりません。

- ✓ 盲導犬または白杖を使用している歩行者には、常に優先権が与えられなければなりません。
- ✓ 白杖を携帯している、または犬に誘導されて道路や幹線道路を横断している視覚障害者に接近する場合は、車両を停止しなければなりません。

## 5.3 ジョージア州における自転車の安全な追い越し方

ジョージア州では、自転車は法的に車線全体を使用する権利があります。自転車を追い越す際、自動車の運転手は最低3フィートの間隔を空けなければなりません。追い越しのために車線変更が不可能または安全でない場合、運転手は制限速度より少なくとも時速10マイル遅い速度（または時速25マイルのいずれか大きい方）まで減速し、なおかつ3フィートの追い越し距離を保つ必要があります。

- ✓ 自動車の運転手が自転車を追い越すための最低合法スペースは3フィートです。
- ✓ 自転車は、州間高速道路を除き、ジョージア州の道路で車線全体を使用する法的権利があります。
- ✓ 自転車を追い越すために車線変更が不可能な場合は、制限速度より少なくとも時速10マイル遅い速度、または時速25マイルのいずれか大きい方の速度まで減速しなければなりません。

## 5.4 ジョージア州のスクールバス停止法

ジョージア州の法律では、乗客の乗降のためにライトを点滅させて停車しているスクールバスに対して、ドライバーは停止することが義務付けられています。唯一の例外は、中央分離帯のある分割高速道路です。この場合、バスと同じ方向に走行している車両のみが停止しなければなりません。2車線、4車線、中央の転回車線がある道路を含む他のすべての道路では、両方向のすべての車両が停止しなければなりません。

- ✓ 2車線の道路または中央分離帯のない多車線道路では、両方向のすべての車両が停車中のスクールバスのために停止しなければなりません。
- ✓ 中央分離帯のある分割高速道路では、バスの後方を走行している車両のみが停止しなければなりません。
- ✓ 停止した後は、バスが動き出すか、警告信号を解除するまで停止し続けなければなりません。

## 5.5 スクールバスの違法な追い越しに対する罰則

ジョージア州のスクールバス停止法に違反すると、厳しい罰則が科せられます。有罪判決を受けると、裁判所への出頭が義務付けられ、最大1,000ドルの罰金と運転記録への最大6点の違反点数が科される可能性があります。21歳未満のドライバーの場合、この違反で有罪判決を受けると、免許停止処分となります。

- ✓ 停止中のスクールバスを違法に追い越した場合、最大1,000ドルの罰金と運転記録に6点の違反点数が科される可能性があります。
- ✓ 21歳未満のドライバーがスクールバスの違法な追い越しで有罪判決を受けた場合、免許停止処分となります。

## 5.6 商用車の「ノーゾーン」（死角）

大型トラックやバスには、四方すべてに「ノーゾーン」として知られる重大な死角があります。これらは衝突が起こりやすい危険なエリアです。最大のノーゾーンは、車両の側面と真後ろにあります。一般的なルールとして、もしあなたがトラック運転手の顔をサイドミラーで確認できなければ、運転手もあなたのことを見ることができません。

- ✓ 「ノーゾーン」とは、トラックやバスの周囲にある大きな死角のことで、あなたの車が運転手の視界から「消えて」しまう可能性がある場所です。
- ✓ 商用車のサイドミラーで運転手の顔が見えない場合、あなたは運転手の死角に入っています。
- ✓ トラックやバスにはバックミラー（ルームミラー）がないため、真後ろに大きな死角があります。

## 5.7 標示のある横断歩道とない横断歩道の理解

横断歩道は、歩行者が道路を横断するために指定されたエリアです。ペイントされた線で標示されていなくても、すべての交差点の四隅に存在します。運転者は、歩行者の安全な通行を確保するため、交差点で停止する際に横断歩道を塞いではいけません。

- ✓ 横断歩道は、ペイントされた線で標示されていなくても、すべての交差点の四隅に存在します。
- ✓ 赤信号や一時停止の標識で停止する際は、横断歩道の手前で車両を停止しなければなりません。
- ✓ 歩行者が横断歩道にいる場合、自動車よりも歩行者が優先されます。

## 5.8 歩行者のために停止している車両の追い越し

複数車線の道路では、横断歩道で停止している車両を絶対に追い越さないでください。見えない歩行者のために停止している可能性があります。他のドライバーの視認性を高めるため、複数車線の道路で歩行者のために停止する場合は、横断歩道の少なくとも10フィート手前で停止する必要があります。

- ✓ 細心の注意を払い、複数車線の道路の横断歩道で停止している車を追い越さないでください。
- ✓ 複数車線の道路の横断歩道で停止する場合は、隣接する車線のドライバーが歩行者を確認できるよう、横断歩道の少なくとも10フィート手前で停止してください。

## 5.9 車両速度が歩行者の安全に与える影響

歩行者が自動車との衝突事故で生存する可能性は、車両の速度に直接関係します。死亡のリスクは速度とともに劇的に増加します。時速40マイル（40 mph）で走行する車両にはねられた歩行者が死亡する確率は、少なくとも80%です。

- ✓ 歩行者が重傷を負ったり死亡したりするリスクは、ドライバーの速度とともに指数関数的に増加します。
- ✓ 歩行者が時速40マイル（40 mph）で走行する自動車にはねられた場合、歩行者の死亡リスクは少なくとも80%です。

## 5.10 オートバイの車線における権利とポジショニング

オートバイの運転手は他のドライバーと同じ権利を持ち、一つの車線の全幅を使用する権利があります。自動車のドライバーは、オートバイと車線を共有しようとしないでください。オートバイの運転手は、安全のため、視認性を高めるため、または道路上の危険を避けるために、車線内で頻繁に位置を調整します。

- ✓ オートバイは、走行のために車線の全幅を使用することが許可されています。
- ✓ オートバイと走行車線を共有しないでください。
- ✓ オートバイの運転手は、視認性を高めたり、路面の穴や砂利などの道路上の危険を避けたりするために、車線内の位置を変更することがあります。

## 5.11 オートバイの安全な追従と追い越し

オートバイは自動車よりも急に停止できるため、ドライバーはより長い車間距離を保つ必要があります。3秒から4秒の車間距離が推奨されます。オートバイを追い越す際は、1車線分のスペースを完全にあけ、安全に追い越したことを確認してから車線に戻ってください。

- ✓ オートバイの後ろを走行する際は、3秒から4秒の車間距離を保ってください。
- ✓ 乾燥した路面では、オートバイは自動車よりも急に停止できます。
- ✓ オートバイを追い越す際は、オートバイに1車線分を完全にあけてください。

## 5.12 交差点でのオートバイの安全

交差点は、自動車の運転手がオートバイに気づかないことが原因で、自動車とオートバイの衝突事故が最も多く発生する場所です。オートバイの方向指示器は自動で解除されない場合があるため、ウインカーが点滅していてもライダーが必ず曲がるとは限らないことに注意してください。先に進む前に、ライダーが実際に動き始めるのを待ってください。

- ✓ 交差点は、自動車とオートバイの衝突事故が最も起こりやすい場所です。
- ✓ オートバイの方向指示器が点滅しているというだけで曲がると判断せず、確信するまで待ってから進んでください。

## 5.13 大型トラック周辺での安全な運転方法

商用車は、そのサイズと重量のため、停止や方向転換にはるかに広いスペースを必要とします。時速55マイルで走行している満載のトレーラートラックは、乗用車の3倍の停止距離が必要です。トラックの前に割り込んでから減速することは絶対にしないでください。追い越す際は、車線に戻る前に、バックミラーでトラックの前面全体が見えることを確認してください。

- ✓ 時速55マイルで走行している満載のトレーラートラックは、乗用車が停止するのに必要な距離の3倍が必要です。
- ✓ 商用車の直後を走行しないでください。後方の死角に入ってしまい、前方の交通状況が見えなくなります。
- ✓ トラックの前に車線変更する際は、バックミラーでトラックの前面全体が見えることを確認してください。

## 5.14 アイドリングが環境に与える影響

燃料を節約し、エンジンの摩耗を減らし、大気汚染を最小限に抑えるため、ドライバーは不必要なアイドリングを避けるべきです。ジョージア州のガイドラインによると、わずか10秒間のアイドリングは、エンジンを再始動するよりも多くの燃料を消費します。

- ✓ 10秒間のアイドリングは、エンジンを再始動するよりも多くの燃料を消費します。
- ✓ アイドリング時間を最小限に抑えることで、燃料消費、エンジンの摩耗、大気汚染を削減できます。